



やまびこ

仙北市立
西明寺中学校報

令和7年6月20日

No. 13

TEL 0187-47-2626

FAX 0187-47-2633

http://www.city.semboku.akita.jp/sc_saichu

郡市総体激励会

6月19日(木)に激励会を行いました。体育文化会長さん、副会長さん、西明寺小6年生のみなさん、20名を超える保護者や地域の方々にも参加いただき、選手団に力強いエールをいただきました。ありがとうございました。諸事情により、当日、割愛させていただいた校長挨拶内容を裏面に載せましたので、よろしければ御覧ください。



お知らせ

郡市総体が21日(土)22日(日)に開催されるに伴い、総体に出場しない生徒のみなさんは出校日となります。吹奏楽部、部活動に所属していない生徒毎に計画が出されていますので、確認の上、対応願います。6月23日(月)と24日(火)は振替休業日で2日間、休みです

お願い

学校報No4でお知らせいたしましたが、毎週水曜日は17時で学校閉鎖とさせていただいております。御理解いただきありがとうございます。併せて平日の放課予定時間、部活動終了時間に保護者の迎えを待つ場所が必要な際も、基本的には、中央公民館(西木庁舎)の図書スペースを利用ください。体調不良や猿や熊等が出るなど特別な場合はこの限りではありません。何卒、御理解の上、御了承くださるようお願いいたします。

※6月19日の激励会にて校長挨拶で話す予定だった内容です。

選手の皆さん、全国大会につながる夏の大会がやってきました。プロ野球の中日、阪神、楽天で監督をした、星野仙一さんは、少年野球教室の中で「元気のあるところに勝ちが来る」と言っています。私も全くそうだと思います。



5月23日の朝の表彰での私の話で、みなさんに失敗したときこそ声を出して、試合の「ながれ」をもってきてほしいと話しました。「ながれ」は全てのチームに必ずやってきます。強いチームは、チャンスを自分たちでもってきて、できるだけ長い間、自分のチームにとどまらせることができます。

「ピンチの後に、チャンスあり」という言葉を耳にしたことがあると思います。野球では、「ピンチをしのぎ切った後」に得点が入ることがとても多いです。ピンチをどうしのぎ、どう切り抜けるか、チャンスをどうつかみ、勝負の波をこちらに引き寄せるかは、実は皆さん次第なのです。



私は「ながれ」を引き寄せるための最も効果的な方法は、元気な前向きな声掛けだと思います。ピンチのときには、仲間を安心させる声掛け、チャンスの時はどんどんイケイケゴーのお祭り騒ぎの声掛け。しかし、総体には声になかなか出せない状況がたくさん待っています。思いもよらないアクシデントが起きることもあるでしょう。そんなときこそ自分から勝手にピンチを広げ、チャンスを失う気持ちにならないでください。



例えば、チャンスになのに、「失敗したらどうしよう。」「緊張してしまいそう。」「このままいったら負けちゃうかも。」「この前もこの場面で失敗してしまった。私には無理。」「たぶんうまくいかない・・・。」こんな思考をするのはもったいないと思いませんか。この思考は自分から「ながれ」を手放していることになります。残念ながら、人間は弱いものなので一人ではそう考えてしまいがちです。そんな時こそ、チームのだれかがファーストペンギンになって、仲間を勇気付ける元気な声を出してほしいです。それが監督が言う「元気なところに勝ちがくる」ことだと私は思います。



大会ではチーム全体で「ながれ」をもってきて、「ながれ」を離さず、西明寺旋風を巻き起こしてください。みなさんの、健闘を期待しています。